



市民ネットワーク鶴ヶ島は  
大野ひろ子を市議会に送っています

12月議会報告 2013.2  
発行 / 市民ネットワーク鶴ヶ島  
鶴ヶ島市富士見2-12-15



<http://www.h-ohno.com/>

# 鶴ヶ島にエコミュージアムを

埼玉県農業大学校周辺は市内でもまとまった緑と水辺が残るスポットです。市は、企業誘致による雇用の創出と、自然環境を生かした活用を重要政策としていますが、県の所有であることからなかなか具体的な構想は見えてきません。

10年ほど前から耳にする「エコミュージアム」は、その地域の自然と文化を市民参加の運営で持続可能な手法で保存、活用していくまちづくりといえます。住民一人ひとりが学芸員の山形県朝日町、山口県の秋吉台国定公園のビジターセンターが有名です。

たくみの里はお隣の群馬県なので訪れた方も多いのではないかと思います。いっしょに暮らし地域をつくるたくみの家、野仏めぐりなどの企画。景観を生かした里山がテーマパークになっています。

また、現在の緑をつなぎネットワーク化していくことが、生態系を守り、環境を保全していく上で必要不可欠なものになっています。緑の連続性の観点からも農大跡地から運動公園までの一帯を総合的に捉えたまちづくりを進めるべきではないかと思えます。

いかと思えます。

農大跡地には環境リスクの低い企業を誘致し、職住接近型の職場を。事業所内託児があれば、ワークライフバランスもとれ、これからの時代にあつた、労働の形が広がります。自然景観を活用した遊びや学び、遊歩道、健康の視点等々、経済活動と憩いの空間、「保全と開発」の一見相反する課題を抱える農大の跡地周辺の未来を「エコミュージアム」構想で企画することを提案したいと思います。

地域の活性化と産業の発展をめざすことがエコミュージアムの目的であり、実践です。憩いや賑わいの拠点としていくためにも市民協働の時代にふさわしいまちづくりになるのではないのでしょうか。



農大構内の遊水池

\*市は、企業へのアンケート調査、地域の意見などから考え方をまとめ県との交渉に入りました。